

令和6年度 愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム(南予)

必修科目(ステージⅠ、ステージⅢ)

ステージ	年	月	日	曜日	時限	科目名	講義題目	担当	受講方法	場所	備考
Ⅰ 愛媛県及び南予地域の現状と課題を知る	8	31	土	1	愛媛大学による地域創生の取り組み	愛媛大学のビジョン・戦略・取り組みについて	地域協働推進機構・機構長	杉森 正敏	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合
				2	地域課題の明確化手法	プログラムの履修ガイダンス(自らの成長につながるレポートの作成方法)	地域協働センター南予センター長	松村 暢彦			
				3	プロジェクト	プロジェクトのガイダンス	地域協働センター南予センター長、プロジェクト担当教員	松村暢彦 前田 眞			
						グループディスカッション	地域協働センター南予センター長、プロジェクト担当教員				
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	9	7	土	1	プロジェクト	グループディスカッション	地域協働センター南予センター長、プロジェクト担当教員	松村暢彦 前田 眞 笠松 浩樹 大本 敬久	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合、午後から県歴史博へ各自移動(現地解散)
				2	愛媛県及び南予地域の現状	災害の世代を生き抜く産官学民連携～全世代への防災教育～	地域レジリエンス学環准教授	芝 大輔			
				3		愛媛県内の災害史に関する講義	地域協働推進機構准教授	大本 敬久			
				4		愛媛の歴史と文化—愛媛県歴史文化博物館の展示案内—	地域協働推進機構准教授	大本 敬久			
Ⅰ 愛媛県及び南予地域の現状と課題を知る	10	19	土	1	地域課題の明確化手法	地域課題の抽出と明確化の方法	地域協働推進機構客員教授	前田 眞	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合
				2		ファシリテーションとグラフィックコーディング(1)	えひめの板書屋	岩下 紗矢香			
				3		ファシリテーションとグラフィックコーディング(2)	えひめの板書屋	岩下 紗矢香			
				4	愛媛県及び南予地域の現状	地域別人口推計をまちづくりに活かす	地域レジリエンス学環准教授	大久保 武			
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	11	3	日	2	フィールドワーク(地域の文化資源の継承と活用)	吉田秋祭りの概要と継承の課題(講義)	地域協働推進機構准教授	大本 敬久	対面	吉田町	・受講生各自で吉田公民館に集合(現地解散)
				3		吉田秋祭りの現地調査(見学)及びふりかえり	地域協働推進機構准教授	大本 敬久			
				4		地域協働推進機構准教授	大本 敬久				
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	11	17	日	2	プロジェクト	プロジェクト中間発表およびディスカッション(2コマ)	地域協働センター南予 松村暢彦、前田眞、笠松浩樹、大本 敬久 他	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合	
				3							
Ⅲ南予地域での課題解決の提案	令和7年	2	1	土	2	プロジェクト	プロジェクト成果発表およびディスカッション(2コマ)	地域協働センター南予 松村暢彦、前田眞、笠松浩樹、大本 敬久 他	対面	南予センター	・受講生各自で南予センターに集合
					3						
					4	プログラム振り返り	プログラムの振り返りワークショップ				

1限目	09:00～10:30
2限目	10:50～12:20
3限目	13:30～15:00
4限目	15:20～16:50

南予センター:地域協働センター南予
 県歴史博:愛媛県歴史文化博物館
 吉田町